
ボクの普通の物語

夢田之葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ボクの普通の物語

【著者】

Z4680Y

【作者名】

夢田之葉

【あらすじ】

少年は普通を嫌っていた。

『普通でいたくない』と願い続けて、あらゆる普通と違つものを
目指した。

しかし、こぞ『普通じゃない自分』になつた時に気付く。

普通になりたい。

これは、そんな、自分の感情に踊らされ続けた普通の人間の、普通の過ちの物語である。

始まりは普通で自己紹介

「始まり」

ボクは普通ではない。

だからといって、別に特殊な能力を持っているわけでも、何かにおいて優れた才能もない。

アニメやゲームの主人公でもないんだから…

そんなファンタジーな理由で普通ではないのならば、きっとボクは、空から女の子が降つてきたり、学校で突然の転校生…そして、ゆくゆくは…みたいな展開を心待ちにして生きていだろう。

いや、スポーツ漫画的に考えたら、突然の勧誘からのエースへ昇とか。

もしくは、ちょっと悲劇的なストーリー展開で、能力を妬まれたり、恐れられて、世間から拒絶や隔離をされたとしても、きっと近いうちに、自分が必要になる事件が起きて、それをきっかけにみんなのヒーローになれるのだろう。

きっと、自分の将来が明るく輝かしいものだと信じて生きていこうとが出来たのだろう。

…少なくとも、こんな風に、劣等感で押し潰されて、憂鬱な気持ちになつていな事だけは、確実に言える。

普通への拒絕（前書き編）

「1」

最初に言つておぐが、別に小さい頃から、自分が【普通ではない】と感じていたわけではない。

それどころか最初は、普通がどうかすら気にしたことになかったはずだ…

ただ、当たり前に、いつも通りの生活を繰り返していくだけ…なんとなく生きているだけの人間だった。

【なんとなく生きているだけ】とこつ言葉は、聞こえは悪いが、決してよくないものではなかつた。

むじむ、今、こつして振り返つて思い返すと

あの頃が、ボクの人生で最も幸せな時期だった気がする。

当たり前を当たり前に受け入れられる。

そんな普通の事が、今のボクには難しい。

どうしても、これが当たり前なのかを考えてしまつ。
それでは、当たり前に受け入れられるはずがない。

「考えるな。」と思いつから考えてしまつ。

わかつてはいるんだ。

でも、無理なものは無理

みんなだつて、「今からパンティーの事を考えるな」と言われればパンティーで頭がいっぱいになつてしまつだろ？

ちなみに、普通になるための一環として、パンティーが頭に浮かばない方法を考えた事がある。

これが出来れば、もう普通についてなんて頭に浮かぶことはないと
考えて…

その結論は、「パンティーが駄目ならスクール水着を考えればいい」という方法なのだが

こつちの考えが出来る人間は、どのみち普通ではないと思いボツになりました。

誰か最も普通に、普通というものを考えない方法を知つてゐる人はいなかな。

おっと、話がそれていきました。

それでは、『気を取り直して本題に移らう。

今から書く話は、ボクが普通といつものを見つた原因

…普通といつものを見つめてしまつた、中学生の頃の話だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4680y/>

ボクの普通の物語

2011年11月19日20時28分発行